

## 探究基礎講演会1「人はなぜ疑似科学を信じるのか」

(1) 日程 令和元年5月9日(木)

第1部 5限 13:30～14:20 講演会(1学年全員)

第2部 6限 14:30～15:20 グループワーク(探究科)

(2) 場所・対象 本校大講義室・1学年199名

(3) 仮説・ねらい

世の中の科学的失敗例から学び、批判的思考力(クリティカルシンキング)を身につけるとともに創造的な学習や研究方法について生徒の理解を深める。グループワークにより批判的思考を実践する。

(4) 実施内容 信州大学人文学部教授菊池聡氏による講演会とグループワーク

(5) 評価

全学科で75%以上が「2未知の事柄への興味・好奇心が高まった。」「6身近な生活において科学が活かされていることを実感した。」「9仲間とともに学習を深めることの大切さを理解した」と回答した(表1)。

探究科は80%以上が「1科学への興味」「11実験、観測、観察への興味」が高まった。

図1 生徒の肯定感(探究科)

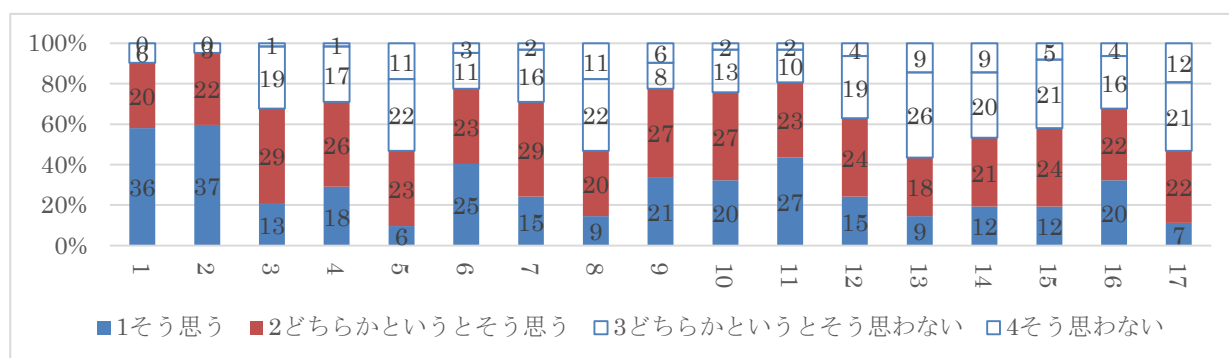


図2 生徒の肯定感(普通科・スポーツ科学科)

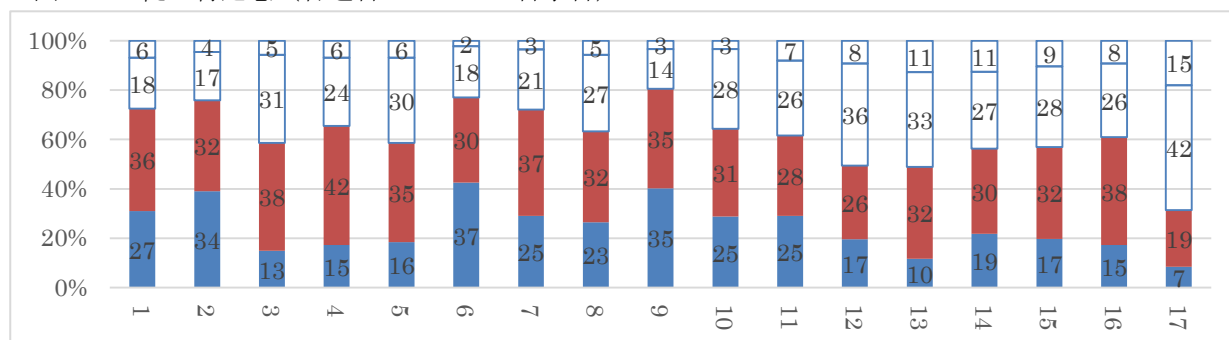


表1 生徒の肯定感(%) T: 探究科 HS: 普通科&スポーツ科学科

|    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| T  | 90 | 95 | 68 | 71 | 47 | 77 | 71 | 47 | 77 | 76 | 81 | 63 | 44 | 53 | 58 | 68 | 47 |
| HS | 72 | 76 | 59 | 66 | 59 | 77 | 72 | 63 | 80 | 64 | 62 | 49 | 49 | 56 | 57 | 61 | 31 |

(1) 科学への興味が高まった。(2) 未知の事柄への興味・好奇心が高まった。(3) 以前より科学的なものごとをとらえられるようになった。(4) 理科や数学の理論や原理への興味が高まった。(5) 地元地域への関心が高まった。(6) 身近な生活において科学が活かされていることを実感した。(7) 学びを身近な生活に活かそうという意欲が高まった。(8) 進路について考えるようになった。(9) 仲間とともに学習を深めることの大切さを理解した。(10) 知りたいことを自分で調べる意欲が高まった。(11) 実験、観測、観察への興味が高まった。(12) 研究活動および研究者を身近に感じるようになった。(13) まとめや発表を通して表現力が向上した。(14) 科学の発展と人類との関係について考えるようになった。(15) 科学の発展と社会との関係について考えるようになった。(16) 科学の学習が自分の将来の可能性を広げると思うようになった。(17) 将来やってみたいと思える研究があった。